

# Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2009年1月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
2009年1月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。  
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

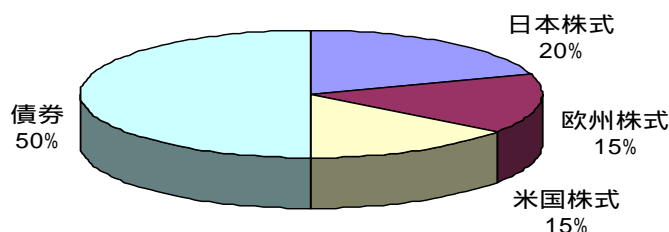
## 特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

## 目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



\* 上記は設定当初の資産配分比率です。  
\* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

## 運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

### アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 運用環境について(2009年1月)

## 【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、日経平均が 9.77%、TOPIXが 7.59%と、東証2部および日経ジャスダック平均はそれぞれ 2.45%、1.91%となりました。月初は円安や米景気回復期待から輸出中心に上昇し、日経平均で一時的に9,000円台を回復しました。しかし中旬になると記録的な悪化を示す経済指標や企業業績の下方修正が相次いだことから株式市場は下落、日経平均は再び8,000円を割り込みました。

東証33業種の動きでは当月は、輸送用機器が反発し唯一の上昇業種となった一方、前月の原油安の恩恵を受け上昇したパルプ・紙は反動で下落する展開となりました。上位業種は輸送用機器(+1.20%)、卸売業(0.65%)、鉱業(2.71%)となりました。下位業種はパルプ・紙(-19.26%)、不動産業(-17.11%)、その他金融業(-16.99%)となりました。需給面では1月で外国人投資家は5ヶ月の売り越しとなりました。一方主な買い手は個人と信託銀行でした。

## 【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は 8.57%、ダウ平均株価は 8.84%、ナスダック指数は 6.38%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

米国株式市場は、米国の初めとした世界の経済指標や主要企業の業績面でマイナス材料が多い中、オバマ新政権誕生に伴う景気回復期待や金融危機処理の加速への期待が先行し、月初は堅調に始まりました。しかし、その後は景気先行きへの懸念に加え、金融機関の資本不足や業績に対する不安が再燃し、調整する展開となりました。雇用統計や小売売上高などの経済指標も悪化した一方、半導体大手インテルが売上高見通しの下方修正を発表したことや、非鉄大手のアルコアが大規模な人員削減を発表するなどの悪材料が続きました。加えて、銀行大手バンク・オブ・アメリカがメリルリンチ買収に向けて政府の緊急支援を受けたほか、欧米金融機関の大幅な赤字決算が相次いだため、金融機関の資本不足や業績に対する不安が強く、下落が続きました。月末は、中古住宅販売件数が予想外に増加したことや、バッドバンク(公的資金を使って金融機関の不良債権を買い取る資産管理会社)構想に対する期待から反発したものの、前月末比では下落となりました。

## 【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 6.23%、英FT100指数は 6.42%、仏CAC指数は 7.58%、独DAX指数は 9.81%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

欧州株式市場は、昨年来の上昇基調を受けて堅調に始まったものの、決算の不振を事前に予告する米国企業が相次いだことを受けて、業績悪化懸念が高まりました。月中旬は、ドイツ、スイス、英国などで主要銀行の第4四半期決算の不振が伝えられ、市場は下落しました。また、損失拡大により英国大手銀行ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドやロイズ・バンキング・グループに対する国有化懸念が浮上したことから、市場は続落する展開となりました。しかし、26日に、英国大手銀行のパークレイズが公的資金の受け入れの必要はないと表明したことや、オランダ政府がINGの保有する住宅ローン担保証券の8割の保証に合意したことが好感され反発しました。月末は、米国がバッドバンク設立を検討しているとの報道を受けて続伸したものの、月初の水準を回復するには至りませんでした。

## 【国内債券市場】

国内債券市場は、方向感の定まり難い動きを見せながらも、前月末までの急激な金利低下の反動もあり、金利上昇基調となりました。前半は、12月末に向けた10年国債利回りの金利低下の反動や、オバマ新政権誕生に伴う米国景気回復期待や国債増発懸念等を材料に、金利上昇基調となりました。しかし、10年国債利回りが1.3%水準に達すると、国内景気の悪化懸念や株安円高を材料に債券の買戻しが入る動きとなりました。

一方月後半は、債券買戻しの動きから、金利低下余地を探る展開となりましたが、1.2%水準に近づくと、高値警戒感から金利は下げ渋り、月後半に向けて、再び金利上昇基調となりました。この動きは、米国大型景気対策に伴う米国債増発懸念等の要因により、米国債利回りが上昇したことも影響しました。10年国債利回りは、1.3%近辺で月末を迎えました。

## (参考指標)

		2008年12月末	2009年1月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	859.24 ポイント	794.03 ポイント	-7.59%
	日経平均	8,859.56 円	7,994.05 円	-9.77%
	新発10年国債	1.165 %	1.270 %	0.105上昇
米国	NYダウ	8,776.39 ドル	8,000.86 ドル	-8.84%
	S&P500	903.25 ポイント	825.88 ポイント	-8.57%
	NASDAQ	1,577.03 ポイント	1,476.42 ポイント	-6.38%
	10年国債	2.212 %	2.840 %	0.628上昇
欧州	FT100	4,434.17 ポイント	4,149.64 ポイント	-6.42%
	CAC40	3,217.97 ポイント	2,973.92 ポイント	-7.58%
	DAX	4,810.20 ポイント	4,338.35 ポイント	-9.81%
	独10年国債	2.951 %	3.296 %	0.345上昇
為替	米ドル/円レート	91.03 円	89.55 円	1.63%円高
	ユーロ/円レート	127.96 円	115.53 円	9.71%円高

\* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

\* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 特別勘定の資産内容について(2009年1月)

### 【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922
08/08/31	0.916
08/09/30	0.851
08/10/31	0.789
08/11/30	0.777
08/12/31	0.782
09/01/31	0.764

### 【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-2.42%	-17.17%	-18.37%	-24.19%	-22.03%	-23.65%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

### 【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	610,696	2.0
日本株式型投資信託 (アクサR)	2,825,035	9.3
日本株式型投資信託 (アクサR)	4,229,079	14.0
米国株式型投資信託(アクサR)	4,471,469	14.8
欧州株式型投資信託(アクサR)	2,952,542	9.8
日本債券型投資信託(アクサR)	14,557,808	48.1
その他	589,733	2.0
特別勘定合計	30,236,363	100.0

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っていません。

### 【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,054	2,443,360
終身型	53,309	284,194,090
合計	54,363	286,637,450

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

### 【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

### 【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 ファンドマネジメント・チーム)



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

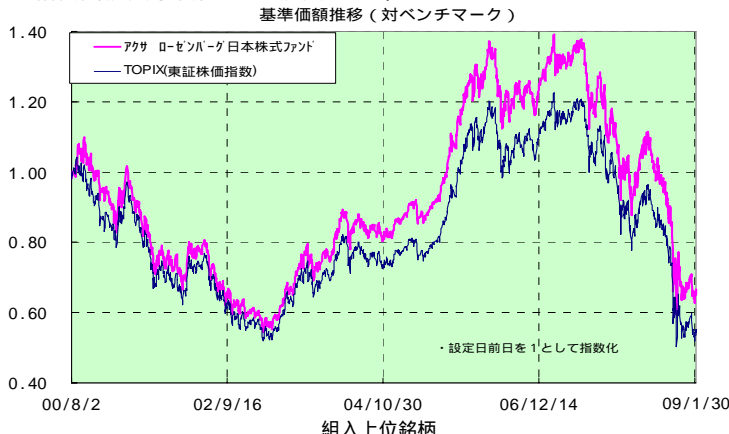
**日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
 「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** TOPIX

**【運用状況】**

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 7.59%であったのに対し、当ファンドは、6.96%となりました。  
 当月の日本株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。  
 運用協会社独自の業種別では、上昇した総合商社、ITハードウェアや自動車をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。  
 個別銘柄では、上昇したデンソー(6902)やりそなホールディングス(8308)を少なめに保有していたことや、日本電産(6594)を保有していなかったことは、いずれもマイナスに寄与しました。



**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。  
 割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)

順位	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.4%
3	日本電信電話	情報・通信業	2.3%
4	東京電力	電気・ガス業	2.0%
5	武田薬品工業	医薬品	1.9%
6	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.8%
7	本田技研工業	輸送用機器	1.5%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.4%
9	任天堂	その他製品	1.3%
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.2%
合計			20.5%
組入銘柄数			485銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

**日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
 「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** TOPIX

**【運用状況】**

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 7.59%であったのに対し、当ファンドは、7.16%となりました。  
 当月の日本株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。  
 運用協会社独自の業種別では、上昇した総合商社を保有していなかったことや、自動車を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。  
 個別銘柄では、上昇した本田技研工業(7267)を保有していなかったことやトヨタ自動車(7203)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。また、下落した東海旅客鉄道(9022)を多めに保有していたこともマイナスへの寄与となりました。



**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。  
 割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)

順位	銘柄	業種	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	3.7%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.6%
3	KDDI	情報・通信業	2.7%
4	アステラス製薬	医薬品	2.7%
5	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	2.7%
6	第一三共	医薬品	2.4%
7	東海旅客鉄道	陸運業	2.2%
8	国際石油開発帝石	鉱業	2.2%
9	キリンホールディングス	食料品	1.9%
10	三井住友海上グループホールディングス	保険業	1.8%
合計			25.9%
組入銘柄数			381銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
 編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** MSCI 欧州株式指数(為替ヘッジあり)

### 【運用状況】

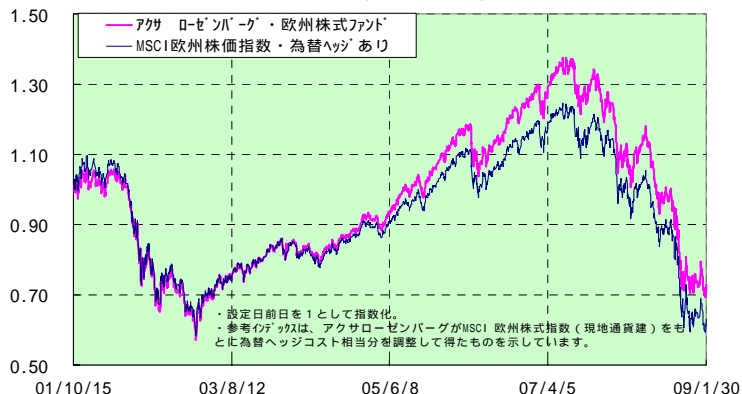
当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 3.71%であったのに対し、当ファンドは 2.59%となりました。

当月の欧州株式市場は、市場の動きと連動した株価の動きを示す銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落した通信をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、上昇した金属、石油を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した保険のアクサ(フランス)、銀行のウニクレディ(イタリア)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、上昇したエネルギーのスタイルハイドロ(ノルウェー)を多めに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	バルティス AG-REG SHS	医薬品・バイオテック/ロジック・ライフサイエンス	2.5%
2	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.4%
3	BP PLC	エネルギー	2.4%
4	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	2.1%
5	テレフォニカ	電気通信サービス	2.0%
6	トタル	エネルギー	1.9%
7	エーオン	公益事業	1.9%
8	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	1.8%
9	ロシュ・ホールディング	医薬品・バイオテック/ロジック・ライフサイエンス	1.7%
10	サノフィ・アベンティス	医薬品・バイオテック/ロジック・ライフサイエンス	1.7%
合計			20.4%
組入銘柄数			273銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

## 米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** S & P 500(為替ヘッジあり)

### 【運用状況】

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が 2.85%であったのに対し、当ファンドは 1.72%となりました。

当月の米国株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落した銀行、その他金融をベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、上昇した電気機器を多めに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した各種金融のステート・ストリート・コーポレーション、バンク・オブ・アメリカや銀行のハドソン・シティ・バンコブをベンチマーク対比で多めに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	エクソンモービル	エネルギー	4.4%
2	シェブロン	エネルギー	2.2%
3	IBM	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.1%
4	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	2.0%
5	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	2.0%
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン	医薬品・バイオテック/ロジック・ライフサイエンス	1.7%
7	ウォルマート・ストアーズ	食品・生活必需品小売り	1.7%
8	AT&T	電気通信サービス	1.6%
9	ゼネラル・エレクトリック	資本財	1.4%
10	マクドナルド	消費者サービス	1.3%
合計			20.4%
組入銘柄数			303銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

**日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

**【運用状況】**

当月の当ファンドは 0.15%となり、ベンチマークは 0.20%となりました。

急速な企業業績の悪化は、景気後退の深度を増し、雇用問題にまで発展しています。米国では新政権誕生に期待を寄せる動きが見られます。しかし、未曾有の景気後退をもたらしている米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安の解消にはまだ時間がかかるとの見方が多数派です。主要国地域の対策は一定の評価を得ているものの、市場の回復に直接的に働きかけるには力不足と言えます。デュレーション戦略は12月の金利低下が急激だったことから水準調整を予想し短期化としました。よってパフォーマンスにプラス寄与となりました。対国債利回り格差は拡大傾向となり、社債の保有はマイナス寄与となりました。インフレ連動債は緩やかな回復傾向となり、小幅ながらプラス寄与となりました。全体ではベンチマーク対比でプラスのパフォーマンスとなりました。

**【今後の運用方針】**

日銀は金融政策を緩和姿勢を維持しており、更に市場への流動性供給の追加的対策を検討しています。日本の銀行は、海外の金融機関と比較すると相対的に健全さを保っているものの、金融緩和策を受けて信用創造を拡大する余力には乏しく、金融緩和策の実体経済への波及は緩やかなものにならざるを得ないと思われれます。従って、当運用チームは今後の国内経済の更なる悪化懸念は払拭できず、日銀は世界的な金融危機や景気後退に対処するため国際協調姿勢を強めるものと考えます。また、日銀は更なる緩和的な対策を講じる必要にも迫られると見えています。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策の影響も考慮しつつ運用を行なっていく方針です。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

基準価額推移(対ベンチマーク)



信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	99.8%	4.53年
短期資産等*	0.2%	0.00年
合計	100.0%	4.52年

\*債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	75.3%	5.14年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	6.3%	2.90年
金融債	0.6%	1.39年
社債等	17.6%	2.57年
コールローンその他*	0.2%	0.00年
合計	100.0%	4.52年

\*債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	7.4%
AA	85.8%
A	6.2%
BBB	0.6%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

\*\* S&P格付を優先

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

**注意事項**

**変額保険の仕組み**

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

**変額保険のリスクについて**

**市場リスク**

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払い戻し金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

**信用リスク**

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-498	1,000	-467	-23.65	-3.12
平成12年 9月 1日	1,000	-504	1,000	-473	-24.78	-3.33
平成12年 10月 1日	1,000	-486	1,000	-455	-22.63	-3.03
平成12年 11月 1日	1,000	-470	1,000	-440	-20.88	-2.80
平成12年 12月 1日	1,000	-452	1,000	-423	-18.86	-2.53
平成13年 1月 1日	1,000	-436	1,000	-408	-17.07	-2.29
平成13年 2月 1日	1,000	-445	1,000	-417	-18.58	-2.54
平成13年 3月 1日	1,000	-416	1,000	-389	-15.10	-2.05
平成13年 4月 1日	1,000	-398	1,000	-372	-13.20	-1.79
平成13年 5月 1日	1,000	-418	1,000	-391	-15.96	-2.22
平成13年 6月 1日	1,000	-411	1,000	-384	-15.44	-2.16
平成13年 7月 1日	1,000	-399	1,000	-373	-14.27	-2.01
平成13年 8月 1日	1,000	-377	1,000	-352	-11.75	-1.65
平成13年 9月 1日	1,000	-345	1,000	-321	-7.96	-1.11
平成13年 10月 1日	1,000	-305	1,000	-282	-3.25	-0.45
平成13年 11月 1日	1,000	-317	1,000	-295	-5.23	-0.74
平成13年 12月 1日	1,000	-322	1,000	-299	-6.11	-0.88
平成14年 1月 1日	1,000	-321	1,000	-299	-6.40	-0.93
平成14年 2月 1日	1,000	-298	1,000	-276	-3.84	-0.56
平成14年 3月 1日	1,000	-304	1,000	-282	-4.92	-0.73
平成14年 4月 1日	1,000	-315	1,000	-293	-6.65	-1.00
平成14年 5月 1日	1,000	-309	1,000	-287	-6.24	-0.95
平成14年 6月 1日	1,000	-310	1,000	-288	-6.78	-1.05
平成14年 7月 1日	1,000	-279	1,000	-257	-3.17	-0.49
平成14年 8月 1日	1,000	-250	1,000	-228	0.19	0.03
平成14年 9月 1日	1,000	-247	1,000	-226	0.19	0.03
平成14年 10月 1日	1,000	-222	1,000	-201	3.04	0.47
平成14年 11月 1日	1,000	-219	1,000	-198	3.02	0.48
平成14年 12月 1日	1,000	-230	1,000	-209	1.24	0.20
平成15年 1月 1日	1,000	-206	1,000	-185	3.89	0.63
平成15年 2月 1日	1,000	-184	1,000	-162	6.38	1.04
平成15年 3月 1日	1,000	-178	1,000	-156	6.79	1.12



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-174	1,000	-152	6.92	1.15
平成15年 5月 1日	1,000	-187	1,000	-165	4.74	0.81
平成15年 6月 1日	1,000	-198	1,000	-176	2.94	0.51
平成15年 7月 1日	1,000	-212	1,000	-191	0.78	0.14
平成15年 8月 1日	1,000	-219	1,000	-198	-0.50	-0.09
平成15年 9月 1日	1,000	-225	1,000	-204	-1.60	-0.30
平成15年 10月 1日	1,000	-226	1,000	-205	-2.04	-0.39
平成15年 11月 1日	1,000	-234	1,000	-213	-3.38	-0.65
平成15年 12月 1日	1,000	-230	1,000	-209	-3.23	-0.63
平成16年 1月 1日	1,000	-237	1,000	-216	-4.54	-0.91
平成16年 2月 1日	1,000	-245	1,000	-225	-5.89	-1.21
平成16年 3月 1日	1,000	-254	1,000	-233	-7.22	-1.51
平成16年 4月 1日	1,000	-263	1,000	-243	-8.71	-1.87
平成16年 5月 1日	1,000	-261	1,000	-240	-8.75	-1.91
平成16年 6月 1日	1,000	-251	1,000	-231	-7.96	-1.76
平成16年 7月 1日	1,000	-259	1,000	-238	-9.20	-2.08
平成16年 8月 1日	1,000	-244	1,000	-223	-7.72	-1.77
平成16年 9月 1日	1,000	-242	1,000	-222	-7.90	-1.85
平成16年 10月 1日	1,000	-241	1,000	-220	-8.05	-1.92
平成16年 11月 1日	1,000	-236	1,000	-215	-7.85	-1.90
平成16年 12月 1日	1,000	-244	1,000	-223	-9.06	-2.25
平成17年 1月 1日	1,000	-254	1,000	-233	-10.58	-2.70
平成17年 2月 1日	1,000	-252	1,000	-231	-10.67	-2.78
平成17年 3月 1日	1,000	-261	1,000	-240	-12.08	-3.23
平成17年 4月 1日	1,000	-259	1,000	-239	-12.24	-3.35
平成17年 5月 1日	1,000	-245	1,000	-225	-10.90	-3.03
平成17年 6月 1日	1,000	-252	1,000	-231	-11.99	-3.42
平成17年 7月 1日	1,000	-259	1,000	-239	-13.18	-3.87
平成17年 8月 1日	1,000	-266	1,000	-246	-14.32	-4.32
平成17年 9月 1日	1,000	-269	1,000	-249	-14.96	-4.63
平成17年 10月 1日	1,000	-291	1,000	-271	-17.79	-5.71
平成17年 11月 1日	1,000	-285	1,000	-265	-17.34	-5.69
平成17年 12月 1日	1,000	-301	1,000	-300	-19.48	-6.61
平成18年 1月 1日	1,000	-311	1,000	-310	-20.93	-7.33
平成18年 2月 1日	1,000	-319	1,000	-317	-22.03	-7.96



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター



契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-312	1,000	-311	-21.62	-8.01
平成18年 4月 1日	1,000	-316	1,000	-315	-22.32	-8.53
平成18年 5月 1日	1,000	-312	1,000	-311	-22.16	-8.71
平成18年 6月 1日	1,000	-285	1,000	-284	-19.50	-7.81
平成18年 7月 1日	1,000	-285	1,000	-284	-19.76	-8.17
平成18年 8月 1日	1,000	-282	1,000	-281	-19.78	-8.44
平成18年 9月 1日	1,000	-294	1,000	-311	-21.33	-9.45
平成18年 10月 1日	1,000	-292	1,000	-307	-21.38	-9.80
平成18年 11月 1日	1,000	-293	1,000	-305	-21.75	-10.33
平成18年 12月 1日	1,000	-291	1,000	-302	-21.86	-10.76
平成19年 1月 1日	1,000	-302	1,000	-311	-23.38	-12.00
平成19年 2月 1日	1,000	-307	1,000	-314	-24.19	-12.93
平成19年 3月 1日	1,000	-306	1,000	-311	-24.33	-13.54
平成19年 4月 1日	1,000	-303	1,000	-306	-24.33	-14.11
平成19年 5月 1日	1,000	-306	1,000	-307	-24.91	-15.10
平成19年 6月 1日	1,000	-311	1,000	-309	-25.64	-16.29
平成19年 7月 1日	1,000	-306	1,000	-305	-25.46	-16.94
平成19年 8月 1日	1,000	-291	1,000	-290	-24.17	-16.84
平成19年 9月 1日	1,000	-278	1,000	-277	-23.04	-16.88
平成19年 10月 1日	1,000	-286	1,000	-285	-24.20	-18.76
平成19年 11月 1日	1,000	-285	1,000	-284	-24.34	-20.00
平成19年 12月 1日	1,000	-262	1,000	-261	-22.26	-19.41
平成20年 1月 1日	1,000	-257	1,000	-256	-21.95	-20.44
平成20年 2月 1日	1,000	-219	1,000	-219	-18.37	-18.37

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成21年1月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

